

<セッション概要>

開会式、オープニング講話

日時：6月30日（木）13:30～15:00

場所：金剛峯寺新別殿

開会宣言 東大先端研教授 AAD 統括 神崎亮平氏

ホスト挨拶 東大先端研所長教授 杉山正和氏
高野山真言宗宗務総長 今川泰伸氏
和歌山県知事 仁坂吉伸氏
高野町長 平野嘉也氏
高野山大学学長 添田隆昭氏

来賓紹介

東大先端研先生方の紹介

オープニング講話「お大師様の寛容精神」 総本山金剛峯寺社会人権局長 藤本善光氏

SESSION 01

日時：6月30日（木）15:30～18:00

次世代育成

場所：金剛峯寺 3F 講堂

統括：東大先端研教授 神崎亮平氏、東大先端研特任教授 近藤薫氏

進行：東大先端研特任研究員 森晶子氏

（目的）

人間性豊かな未来と人材育成をみすえ、芸術、宗教、科学技術の果たすべき役割、そして「高野山会議」の意義を議論する。

（概要）

「高野山会議 2022」の最初のセッションとして、人間性や倫理性ある未来をみすえ、芸術・宗教・科学技術分野の専門の立場からの話題提供と、4日間にわたり繰り広げられる各セッションを担当する先端アートデザイン分野の教員等からその目的を紹介し、芸術・宗教、科学技術の果たすべき役割、そして「高野山会議」の意義についてパネルディスカッションを行う。

登壇者 東京藝術大学名誉教授 澤和樹氏

(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン代表取締役社長 重見聡史氏

東大先端研所長教授 杉山正和氏

高野山大学教授 前谷彰（恵紹）氏

住友商事株式会社 望月雅志氏、兵頭宣俊氏

および AAD メンバー

SESSION 02

日時：7月1日（金）10:00～12:00

インクルーシブデザイン

場所：金剛峯寺 3F 講堂

統括：東大先端研特任教授 伊藤節氏

(目的)

持続的な包摂社会創造のためのインクルーシブデザイン。科学、アート、デザインの視点からソーシャル・インクルージョンの未来に向けて我々がすべきことを議論する。

(概要)

SDGs の幾つかのゴールにも謳われるノーワンビハインド、AAD 先端アートデザインラボの主要テーマでもあるインクルーシブな社会の創造の為の方法論の一つインクルーシブデザイン、医学博士で当事者研究の熊谷晋一郎先生から科学者視点でインクルーシブアカデミーについて、音楽構成作家の新井鷗子先生からアーティスト視点でインクルーシブアーツについて、伊藤節からデザイナー視点でインクルーシブデザインについて其々お話した後、持続的な包摂社会創造のために我々がすべきことを一緒に議論していく。

登壇者 横浜みなとみらいホール館長・東京藝術大学客員教授 新井鷗子氏
東大先端研准教授 熊谷晋一郎氏（当事者研究分野）

SPECIAL SESSION

先端アートデザイン社会連携研究部門公開セッション
～1200年という時間軸から考える～

日時:7月1日(金)14:30～17:30

場所:高野山大学松下講堂黎明館

先端アートデザイン社会連携研究部門参画企業（五十音順）:

株式会社資生堂	住友商事株式会社	ソニーグループ株式会社
日本たばこ産業株式会社	日本電気株式会社	富士通株式会社
マツダ株式会社	ヤマハ株式会社	ヤマハ発動機株式会社
株式会社リクルート	BLBG株式会社	

(目的)

「1200年後」という未来・長期的思考をベースに、住職・学生・企業等多様な価値観の交換による新たなアイデア創出・気づきの機会とする。

(概要)

先端アートデザイン分野と、各分野で日本をリードする11社の産学連携プロジェクト「先端アートデザイン社会連携研究部門」の公開セッションを行う。1200年後という大テーマに従い、グループ毎に事前設定した自由テーマに基づき事前に議論を重ね、当日発表を行う。また、各発表内容に対して全員参加型でディスカッションを行う。大学研究者・僧侶・学生・企業の皆が双方向での意見交換を行い、新たな価値創造を目指す。

SESSION 03

人間と宗教とテクノロジー

日時:7月2日(土)13:00～15:00

場所:金剛峯寺 3F 講堂

統括：東大先端研特任准教授 吉本英樹氏

(目的)

宗教とテクノロジーの共通項を探り、これからの未来に両者がどのように、時に手を取り合いながら、人間と関わっていくべきかを議論する。

(概要)

テクノロジーはもはや現代の宗教だとも言われる。その是非はさておき、技術が人間の価値観や存在にまで影響を与える時代であることは間違いない。今年には東大先端研から人工知能の原田達也氏と、高野山大学から密教学の松長潤慶氏を迎えて、人間と機械の関係、宗教観が技術発展に及ぼしうる影響など、テクノロジーと宗教のこれからの議論する。

登壇者 東大先端研教授 原田達也氏 (マシンインテリジェンス分野)
高野山大学教授 松長潤慶氏 (密教学科)

SESSION 04

日時:7月2日(土)15:30 ~ 17:30

気候変動・持続可能なエネルギー・社会システムとデザイン 場所:金剛峯寺 3F 講堂

統括:東大先端研特任准教授 伊藤志信氏

(目的)

人間中心の文明拡大がもたらした気候変動の悪影響を最小限にとどめ、自然と調和するエネルギー・社会システムを築くことはできるのか、過去の気象から自然の摂理を識り、サステナブルな社会に人々を導く技術とデザインの役割を論じる。

(概要)

私たちの生活は、地球上の物質・エネルギー循環に拠っている。過去から現在にわたる気象のビッグデータを再整備することで、気候変動の影響を定量的に論じ、エネルギー・トランジションの目標・戦略を明確化できる。一方、再生可能エネルギーに根差した社会の姿は地域ごとに異なり、その最適な設計にも気象データは不可欠である。そして、持続可能な社会を粹に実現する、デザインの力が今求められている。

登壇者 東大先端研所長教授 杉山正和氏 (エネルギーシステム分野)
東大先端研教授 中村尚氏 (気候変動科学分野)

SESSION 05

日時:7月3日(日)9:30 ~ 11:30

仏教とは宗教か?

場所:高野山大学 (201 大教室)

統括:高野山大学教授 前谷彰(恵紹)氏 (インド哲学・仏教学、空海思想)

登壇者 北海道大学大学院文学研究院教授 小田博志氏 (文化人類学)

東京大学先端科学技術研究センター ×
東京フィルハーモニー交響楽団

高野山会議 2022 クラシックコンサート

7月3日 開場 12:15
開演 13:00 (閉会式終了 15:00 予定)

高野山大学松下講堂黎明館
参加無料・要事前申込

【曲目】

J. S. バッハ 2つのヴァイオリンのための協奏曲 より
A. ドヴォルザーク 弦楽セレナーデ ほか

【出演】

東京フィルハーモニー交響楽団 弦楽アンサンブル
コンサートマスター：近藤薫

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター /
東京大学先端科学技術研究センター特任教授

【申込受付】

高野町企画公室 高野山会議コンサート受付担当

TEL 0736-56-2932 FAX 0736-56-3022

または右記 QR コードよりウェブ登録



FAX でお申込の際は以下項目をご記入ください。

〔代表者氏名〕〔代表者ご住所〕〔代表者お電話番号〕

同伴者がある場合、〔すべての同伴者氏名〕

主催：東京大学先端科学技術研究センター（主管：先端アートデザイン分野）

共催：和歌山県 / 高野町 / 高野山真言宗総本山金剛峯寺 / 高野山大学

www.aad.rcast.u-tokyo.ac.jp/koyasan/

高野山に響く 弦の調べ

【特別出演】

ヴァイオリン 澤和樹
東京藝術大学 名誉教授
前東京藝術大学長



高野山会議